

人へ、人へと・・・夢を繋ぐ

～オリーブを核とした3世代が交流できる江田島市へ～

<3年間の地域探究の活動報告>

人へ人へと...

広島県立大柿高等学校 3年 出口 若菜

夢を繋ぐ

《私の夢》

オリーブを核とした
3世代が交流できる
江田島市!



《オリーブの植樹》

開校80周年を記念して、生産者の方とオリーブを植樹しました。令和5年10月、実ができました。卒業前に実ができて嬉しかったです。

1年生



《江田島未来会議》

市長さんを囲んで、市内で活動する方と意見交換をしました。江田島市には、私が気づいていないたくさんの素敵なお話があると感じました。市長さんは、「江田島市は夢を叶えられる島」とおっしゃっていました。私も、夢を叶えたいです。

3年生



《中学校での発表》

たくさんの生徒が、アンケート用紙に私の発表に対して賛同の意見や協力を書いたと書いてくれました。非常に励みになりました。今後私の思いを引き継いでくれる人がいると嬉しいです。

3年生



《OPENDAYでの発表》

江田島市議会議員、地域おこし協力隊など多くの方と意見交換することができました。「私の発表を聞きに来た」とわざわざ足を運んでいただいた方がおられ、とても感動しました。

3年生



《オリーブでGO》

保育園児にオリーブを身近に感じて欲しいと思い、段ボールで「オリーブ電車」を造り、貨物列車をして遊びました。

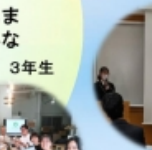
1年生



《テイスティング》

オリーブオイルと江田島市の特産品との相性を調べ、食べ比べをしました。1日オリーブ研究員として活動しました。オリーブの魅力をみなさんに知ってほしいです。

3年生



《オリーブの収穫》

オリーブの栽培はとても大変ですが、収穫を通して、人との繋がりを持てるので、素敵だと思いました。

1年生・2年生



《全国ステージ》

「3世代が交流できる大型遊具のある公園」を実現させて、江田島市のランドマークを造ることを目標に東京で発表しました。詳しくは、全国ステージの発表をご覧ください。下のQRコードを読み取って下さい。私の発表は、34分～50分に放送されています。

2年生



この活動に関するアンケートにご協力をお願いします。

今後の活動の参考にしたいため、下のQRコードを読み取って回答をお願いします。



広島県立大柿高等学校 3年生 ロレインさん

出口 若菜 (でぐちわか) 広島県立大柿高等学校 3年

人へ、人へと・・・夢を繋ぐ

～オーリーブを核とした3世代が交流できる江田島市へ～

出口 若菜



活動概要

活動の内容

- 5/21 オーリーブのOPENDAY 約120名参加
地域探究プログラム発表(以下発表)午前 約40名 午後 約30名
- 5/30 江田島中学校で発表 3年生約30名
- 6/6 能美中学校で発表 全校生徒約130名
- 6/25 オーリーブにてテイスティング講座
- 8/5 江田島未来会議で市長と意見交換 13名
- 11/4 大柿高校文化祭で活動報告 不特定多数
- 11/18 江田島市未来ビジョンワークショップで発表 約30名
- 11/22 学校内で発表
- 11/27 市役所でポスター掲示

活動の特徴(新規性・発展性)

昨年度の地域探究プログラム全国ステージで審査員の方から「自分一人が発信者ではなく、市民を巻き込んで発信者を増やしていくことが大切だ」とアドバイスをいただきました。今年度は、私の考えを多くの方に知ってもらい、地域に密着した活動をするを意識しました。人へ、人へと・・・夢を繋げられるように、市内の中学校やオーリーブ開設時のイベント、文化祭、市役所主催のワークショップ等で、積極的に発表しました。

活動の成果

オーリーブの開設時で発表を聞いていただいた江田島市議会議員さんが江田島市議会令和5年6月定例会にて、公園整備について一般質問されました。同時期に、旧紡績工場跡地を現地調査されました。私の発表が、市政に一石を投じたかもしれません。また、発表を聞いていただいた市内の中学生から非常に前向きなアンケート回答を頂きました。大柿高校の後輩が「公園建設の実現性」についての調査、研究を引き継いでくれます。

課題の設定と意図

昨年度、地域探究プログラム全国ステージにて、「大型遊具を中心とした3世代が交流できる公園づくり」の発表時に、二木審査員から、「テーマの規模が大きいのので、すぐに結果には結びつかない。どうしたらいいのかを考えなければいけない。」また、中原審査員から「大きな壁を乗り越えるためには、自分一人が発信者ではなく、市民を巻き込んで発信者を増やしていくことが大切だ」というアドバイスをいただきました。

そのアドバイスを実践するため、私の発表が地域発展の一つのきっかけとして、より多くの方に私の考えを知ってもらうために、多くの場所で発表を行いました。

特に、発信者を増やすという目的のために、次世代である中学生に私の活動を聞いていただきました。多くの生徒から前向きなアンケート回答を頂きました。アンケート用紙にびっしりと意見を書いてくれた生徒や、私の発表が今後の活動の励みになるという意見や、私の活動に賛同したいという意見を頂きました。私自身も大いに励みになりました。賛同の意見はもちろんですが、反対の立場の意見も踏まえ、江田島市を盛り上げるため、大いに議論していければいいなと考えています。

課題解決のための仮説と計画

昨年度全国ステージでの発表で、審査員の方から、「大きな壁を乗り越えるためには、自分一人が発信者ではなく、市民を巻き込んで発信者を増やしていくことが大切だ」というアドバイスをいただきました。全国ステージを終えてから、少しでも私の夢物語、そして江田島の街づくりに賛同、応援してくれる人を増やすためには、より多くの方に私の意見を聞いてもらうことが必要だと考えました。

①オーリーブで、市民の方を主対象に全国ステージの発表を聞いていただきました。(午前の部 約40名、午後の部 約30名と2回)

<効果>市内の中学校の校長先生や江田島市議会議員を初め、多くの市民の方と意見交換することができました。

②中学校の校長先生から、全国ステージの発表を総合的な探究の時間で発表してほしいとの依頼を受け、江田島中学校3年生(約30名)、能美中学校全校生徒(約130名)に私の発表を聞いていただきました。

<効果>次世代の中学生に私の発表を聞いていただき、率直的な感想を聞くことができました。私自身も励みになりました。

③江田島市議会令和5年6月定例会にて、公園整備について一般質問されました。同時期に、旧紡績工場跡地を現地調査されました。

<効果>私の発表がきっかけで、江田島市を盛り上げる市政の議論に一役買ったかもしれません。

④大柿高校の後輩が、私の活動を引き継いでくれることとなりました。

<効果>江田島市に大型遊具のある公園の実現性について、調査、研究し、文化祭で発表しました。

⑤江田島市主催「江田島市未来ビジョンワークショップ」に参加しました。(約30名)

<効果>地域探究の活動報告を配布し、地域活動に積極的に参加されている方に発表を聞いていただきました。

たくさんの人に私の発表を聞いていただいたことにより、「人へ、人へと・・・」つながり、江田島市を盛り上げる風を吹かせることができました。



活動で工夫できたこと

オリブラボのOPENDAYで、私の活動に興味を持っていただき、賛同していただけるように発表を工夫しました。江田島に対する思いが伝わるように、思いを込めながら発表しました。初めは緊張しましたが、発表の回数を重ねることで自分の思いを多くの方に伝えることができました。その結果、多くの方とコミュニケーションをとることができました。オリブラボでの発表では、「出口さんの発表を聞きに来た。」とわざわざ足を運んでいただいた方がおられました。とても感動しました。また、江田島市の企業の代表者の方、地域おこし協力隊の方、中学校の校長先生、江田島市議会議員の方に聞いていただいたことにより、議論や意見交換をすることができました。その後、それぞれの方が主催する活動に招待していただいたり、私の発表を踏まえた上で活動の手助けをしてくださったり、多くの方と繋がりをもつことができました。

オリブラボのOPENDAYの感想を付箋に書いていただき、オリーブの木になるように貼っていただきました。お客様の声をオリーブの木という形として残すことができました。中学校の校長先生と繋がりを持つことにより、中学校の総合的な探究の時間で発表する機会を得ました。中学生にアンケートを採ったことで、自分では考えてなかったことや、今後の活動に生かせそうなアイデアをたくさん頂きました。そして、たくさんの方が私の発表に対しての賛同の意見や協力をしたいと書いてくださったことが非常に嬉しかったです。オリーブのテイスティング、江田島未来会議、大柿高校文化祭、江田島市未来ビジョンワークショップ等で、発表を行い、活動報告書の配布を行いました。発表の回数を重ねることで、より多くの方と知り合い、色々な体験や活動への参加のきっかけとなり、多くの方と繋がりを持つことができました。活動報告書をポスターに加工し、市役所他公共施設で掲示しています。



活動で得た学び・気づき

今回、私がたくさんの方の前で話をしたことで、幅広い方々からの意見や応援、励まし、協力などたくさんの方の力をいただくことが出来ました。オリブラボのOPENDAYでのアンケート結果で、『一緒に著名運動をしましょう！』『高校生(次世代)が頑張っているなら、私たちが頑張らないと』などと、自分が発表したことで、たくさんの方に私の声が届き、江田島市みんなで頑張ろうという思いを感じることができました。また、中学校での発表では、『私たちが一緒に協力したい』『自分たちも頑張ればできる』という肯定的な意見や『遊ぶところが少ないので江田島から出ていくのだろう』などの否定的な意見等、たくさんの方の意見が出て、質疑応答が盛り上がりました。総合的な探究の時間がより良い学習の時間となるよう、地域探究に対するやる気を与えることができたと思います。アンケートを見るかぎり、江田島の中学生は、前向きで、捨てたものではないと感じました。今後の活躍が楽しみです。

私の考えを多くの方に聞いていただく一方、江田島市をより良くしていきたいと考えている方と交流するために、積極的に次のような活動に参加しました。オリーブのテイスティング、江田島未来会議、大柿高校文化祭、江田島市未来ビジョンワークショップ等で新たな出会いや可能性に触れることができました。

①オリーブのテイスティング

オリーブオイルと江田島市の特産品(瀬戸内みそ、徳永豆腐、濱口醤油など)との相性を調べ、食べ比べをしました。私のイチオシはイノシシバーガーです。どのオイルが一番合うか参加者の皆さんと楽しく会話しながら頂きました。

②江田島未来会議に参加

明岳江田島市長を囲んで、移住者や江田島市内で事業をしている方と江田島市の今後について意見交換を行いました。島外から江田島市へ移住した人の話を聞くことにより、島内で育った私では気づくことのできない貴重な意見を聞くことができました。市長さんと直接お話することができるのはこの島の魅力の一つだと思っています。

③大柿高校の文化祭にて、3年間の地域探究プログラム活動報告

こうした交流に参加することにより、公園づくりの賛同者を増やしていくとともに、色々な意見や江田島市に対する思いを聞く多くの機会を得ました。

④江田島市主催の「江田島市未来ビジョンワークショップ」に参加

江田島市の10年後について考え、江田島市の将来の夢について語り合いました。地域探究の活動報告を配布し、地域活動に積極的に参加されている方に発表を聞いていただきました。

昨年度、全国ステージで言われた、一人ですのではなく、みんなの思いを一つにして、みんなで作り上げていくということが実践することができました。みんなで作り上げたものが、江田島の宝となり、江田島のランドマークになるのではないかと考えました。それが私の提案する大型遊具のある公園だと嬉しいです。

今後の展望・新たな取組み

私は、江田島市の玄関口である大君地区の旧紡績工場跡地(5、3ヘクタール)の広い空き地を見ると、いつも寂しさを感じています。この地に大型遊具のある公園ができ、たくさんの方の楽しい歓声が聞こえてくるような景色が見られるといいなと思います。大柿高校の後輩が『大型遊具のある公園づくり』について引き続き、調査や研究をしてくれることとなりました。私の活動が、一過性ではなく、次世代にバトンをつなげることができました。また、私の発表が、聞いてくれた市内の中学生の今後の地域の課題解決に向けた指針となったとしたら嬉しいです。江田島市には、まだまだ素敵な場所があります。その原石を見つけ、発信し、発展してくれる人を増やしていきたいです。

私は、地域探究プログラムに参加したことで、多くの方に私の考えを聞いていただく一方、たくさんの方のご意見をいただきました。私に賛同してくれた意見もあれば、厳しいご指摘もありました。その一つ一つが私にとっての財産であり、地域探究によって地域の方々と繋がった絆は、今後の社会生活において大いに役立つと確信しています。

最後に、私の発表が夢物語のように聞こえた方もいるかもしれません。夢物語が現実になった事例をご紹介します。

1つ目は、広島県尾道市の事例です。尾道市にある尾道西公園は、会社経営者の1億円の寄付でリニューアルしました。大型遊具が新設され、2台しかなかった駐車場が20台分になり、非常に使いやすくなりました。

2つ目は、兵庫県小野市の事例です。小野市にあるひまわりの丘公園は、西日本最大級の公園で、一般女性の2億円の寄付で実現しました。年間70万人の方がこの公園を訪れています。

まず、皆さんに、江田島市のことを知ってもらいたいです。そして、江田島市に興味を持ってもらいたいです。興味を持たれたら、ぜひ遊びに来てください。江田島市を好きになってください。お金に余裕のある方は、ぜひ2億円寄付してください。その2億円で江田島市に日本最大級の公園を造りましょう。大型遊具のある公園から、たくさんの子供の歓声が聞こえてくる光景を想像してみてください。ワクワクしませんか。皆さん、よろしくお祈りします。

オリーブやかきなどの特産品をアピールし、季節ごとに花見、マリンスポーツ、オリーブの収穫、ミカン狩りなどが楽しめ、道の駅を併設した大型遊具のある公園が実現できるよう、これからも情報発信していきたいです。私は、みんなで夢を叶え、みんなで作り上げたものがこそが地元のランドマークだと思います。地域全体で、議論し、協力し合い、人へ人へと…夢を繋ぎ、夢を実現しましょう。

3年間の地域探究の活動報告として、この報告書の表紙をポスターに加工し、市役所本庁、各支所他公共施設にて掲示していただいています。

1. 地域探究アワードエントリー情報

エントリー希望	有	エントリー単位	個人	ブロック	中国
---------	---	---------	----	------	----

2. オリエンテーション合宿及び実践活動の基本情報

合宿実施先	国立江田島青少年交流の家	修了日	2021/9/1	カリキュラムのタイプ	A
フィールドワークの内容	カッター研修やフィールドワークで瀬戸内いとなみ舎へ訪問し、その企業の課題や問題点、解決策などをグループでまとめて、発表しました。出たアイデアを瀬戸内いとなみ舎に提案させていただきました。				
実践活動期間	2023/5/8 ~ 2023/11/27				
活動のタイプ	その他		新たな活動+発展的な活動		
共同実施者	有	オリーブのテイスティング、ポスターのモデルとして、ロレインさんと協力。			
協力者		主な協力者		協力内容	
	所属	オリーブラボ		OPENDAY、テイスティング、江田島未来会議	
	氏名	峰尾さん			
	所属	江田島中学校、能美中学校		大型遊具のある公園づくりについての発表	
	氏名	中学校の先生方			
	所属	江田島市役所		江田島市未来ビジョンワークショップ、ポスター掲示	
氏名	企画振興課、総務課				
協力者総数	400名		協力団体数	4団体	

3. 実践活動の記録

(1)総活動日数 全 31 日

事前:準備・打合せ	15日	本番:メインの活動	9日	事後:ふりかえり・報告	7日
-----------	-----	-----------	----	-------------	----

(2)活動成果の発信等

媒体	方法	回数	概要・備考
その他	自ら発信	3回以上	地域探究の発表をきっかけに議員が旧紡績工場跡地や公園について一般質問されました。
その他	取材された	3回以上	江田島市内の中学生に公園づくりについて興味をもってもらいました。
その他	自ら発信	3回以上	後輩が活動を引き継ぎ、文化祭で発表してくれました。ポスターを市内に掲示しました。

(3)主な活動記録

活動日時	区分	活動場所	活動内容
5/21 ~ 5/21	②実践活動本番	オリーブラボ	昨年度の地域探究プログラムの発表を午前の部、午後の部と2回行いました。
5/30 ~ 6/6	②実践活動本番	江田島中学校、能美中学校	中学校で、昨年度の地域探究プログラムの発表をしました。
6/12 ~ 6/25	②実践活動本番	大柿高校、オリーブラボ	峰尾さんに出前講座をしていただき、テイスティング講座参加しました。
8/5	②実践活動本番	オリーブラボ	市長さんを囲んで江田島未来会議に参加しました。
11/4 ~ 11/18	②実践活動本番	大柿高校、江田島市役所	大柿高校の文化祭や江田島市未来ビジョンワークショップで活動報告を行いました。